

真夏が続く酷暑の毎日ですが、暦の上ではもうすぐ立秋です。先月は、七夕の集いや盆踊り大会が行われました。七夕では、ご家庭でも短冊に願い事を書いてもらい、ご協力いただきまして、ありがとうございました。園では、7月7日、子どもたちが遊戯室に集い、七夕のお話を聞いたり、『星空カーニバル』のダンスを踊ったり、宝探しなどのゲームを楽しみました。また、盆踊り大会では、本年度保護者会会長の江藤さんをはじめ、保護者の方々のご協力があり、櫓の組み立てや、提灯付け、ヨーヨー作りなどを手伝っていただきました。お陰様で、真夏の大きな行事を無事終えることが出来ました。お忙しい中、ご協力ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。

さて、最近では、各クラス水遊びをメインの活動とし、製作や運動遊びも楽しんでいる子どもたち。年長、年中組さんのクラスからは、運動会に向けて、鼓笛隊のメロディーも聞こえてきています。今月は、以上児さん（もも組さんは体育指導の時のみ）の大型プールの活動も行います。遊ぶだけではなく、水難事故などの危険性や、対処の仕方なども伝えられればと思います。また、「顔がつけられるようになる」「パタ足が出来るようになる」など、それぞれの子どもたちにあった目標を持ち、活動に取り組めるようにしていきたいと思っています。ご家庭でも、是非入浴時など練習をしてみてください。乳児組さんも先月同様ジョウロや、バケツなどを使って水に触れ、保育士やお友だちと一緒に水遊びを楽しみたいと思います。この季節は、疲れの出やすい時期なので、早寝をし、一日の疲れを次の日に残さないよう、気を付けていきましょう。



☆今月の目標☆

- ふじ：夏の遊びに積極的に取り組み、健康に過ごす。
- きく：暑さに負けず、元気いっぱい遊ぶ。
- もも：暑さに負けず、元気に夏の遊びを楽しむ。
- 乳児：夏を健康に過ごす。



**水筒の確認をお願いします**

以上児さんは、戸外遊びも多く、お茶をたくさん飲まれます。担任保育士やお子さんに、お茶が足りているかご確認いただき、水筒の小さいお子さんなどは、水筒(2本目はペットボトル可能)を2つ持たせていただきますようお願いいたします。

**メロンをいただきました♪**

きく組の堀えいた君のご家庭より、メロンをいただきました。実際に触れたり、絵を描いたり、子どもたちと貴重な旬の味覚を味わわせていただきたいと思っています。ありがとうございました! (^\_^)!

子どもへの声かけ

大人の言葉をかなり理解できるようになる3歳以降の子どもたち。大人の意図をきちんと伝えながら、子どもの自発性を伸ばす言葉をかけていきましょう。

具体的に話す

「〇〇しなきゃダメ」ではなく、「〇〇だからこうしてね」とその理由を説明。「早くして」ではなく、「いつまでに」を伝えます。



子どもを褒める

「〇〇してくれてありがとう」「〇〇ができてすごいね」と、その場で具体的に褒めたり、感謝の言葉を伝えたりします。

期待をふくらませる

出かける前にトイレなどの用事をすませてほしいときは、次の行動を楽しく説明し、「そのためには……」と今やってほしいことを伝えます。

気持ちを代弁する

けんかで感情が高ぶって泣いているときなどは、「こうしたかったんだよね」など、その気持ちに寄り添い、代弁します。

提案する

「こうしなさい」「やめなさい」ではなく、「こうしたらどう?」「こうしてみようか」「こういう方法もあるよ」と提案します。

8月の行事予定

- 1日 移動図書
  - 3日 身体測定
  - 14日 熊日童話会
  - 16日 報恩講
  - 24日 誕生会
  - 25日 避難訓練
  - 29日 体育指導
- ※インターンシップとして、2日~4日までの3日間、保育のお仕事を体験されます。



9月の行事予定

- 5日 移動図書
  - 4日 身体測定
  - 12日 体育指導
  - 15・16日 秋季彼岸会法要
  - 22日 乳児保育参観
  - 25日 誕生会
  - 26日 体育指導
  - 29日 避難訓練
- ※ナイストライ事業として、3名の中学生が、保育のお仕事を体験されます。



原爆の日

第二次世界大戦末期の1945年8月6日、広島に政界で初めて原子爆弾が投下されました。続く9日には、長崎市も原爆の攻撃を受けています。そして15日、日本は無条件降伏し第二次世界大戦が終結しました。今月は「平和ってなんだろう」という問いを、子どもたちと一緒に考える月としたいと思います。ご家庭でも、是非、戦争体験をされた方のお話を聞かせていただいたり、おじいちゃん・おばあちゃんの幼少期のお話を聞かせてもらいましょう。



お休みの日の水遊びは、ここに注意!

- 必ず大人が付き添う  
子どもは転びやすい上に、腕力が弱く自分で起き上がることが難しいです。水深が浅い水でも溺れる危険があるので、必ず大人が付き添い見守りましょう。
- 気温や周辺の気象情報をチェック  
暑い日は水遊び向きと考えがちですが、小さなプールでは水がすぐに温まってしまいます。気温や暑さ指数をチェックして、暑すぎる日は注意しましょう。また川では、上流で降った雨やダムでの放流などで急に水かさが増えることがあります。海では、遠い台風や低気圧の影響で波が高くなる場合があります。周辺の気象情報をチェックしましょう。
- 靴やライフジャケットを用意する  
川や海で遊ぶときは、子ども用のライフジャケットを着せると安心です。また、川では石やガラスなどによる怪我を防ぐために、靴を履かせましょう。



7月の思い出

